

行事名	第7ブロック研修事業「教育講演会」		
日時	令和6年11月24日(土) 10:00～11:30		
場所	北中学校体育館	参加人数	400名
イベントの内容	<p>近隣8校の保護者・北中学校生徒合計400名が参加し、講師に愛媛県初のLGBTQを公表した松山市議会議員の渡邊ひろゆきさんを迎え「LGBTQ（性的マイノリティ）について」という演題で、講演会が開催されました。LGBTQは統計的には1クラスに3人が存在するほど実は身近な人間の個性の一環であることを、渡邊さんとゲスト講話者の経験をもとにユーモアや笑いを交えながら、多様性(ダイバーシティ)について考える機会となったお話でした。ゲストの森田さんは渡邊さん同様にLGBTQであり講演を聞いている生徒たちの先輩＝北中学校の卒業生です。生徒たちは「パイセン！」と声を上げ、楽しい雰囲気にならなかつたようでした。LGBTQであるが故の悩みは共通して人間関係の問題ですが、人の好き嫌いがある限り男女関係なく発生するものです。そのため少なからずとも皆、必要分量の妥協をしながら社会生活を送っているのでは、との講師の私見から、相手の声を聞きながら妥協も交えつつ自分たちの声をあげましょうという「必要な妥協もして共存していく啓発活動」に取り組まれているそうです。講話にはLGBTQの言葉の意味、カミングアウトの重さ、アウティング(本人の同意なしで秘匿情報を他者へ開示すること)が時には人の命を奪う禁忌行為になるなどの話もありました。LGBTQの人達は「普通」に皆様と生活し働きパートナーと幸せに暮らす「普通」同様、マイノリティや弱者と呼ばれる人たちも「普通」の暮らしができることを求めているとのことでした。</p> <p>あくまで日本に住む中学生対象の内容でしたが、ものの見方や考え方や歩みよる心の持ち方においては、年齢も性別も国も関係なく、人類の共存にも共通する「多様性」という大切な要素を感じました。</p>		



ユーモアを交えて語る渡邊ひろゆきさん



役員の方々は受付でスタンバイ



身近な問題として熱心に聞き入る生徒たち



LGBTQについての理解が深まりました